

# 公共施設の最適化に 取り組みます

## ～建築物最適化計画を策定～

市は、人口減少社会でも、できる限り市民の負担を増やさずに、公共施設(建築物)を安全に維持し続けることを目指し、建築物最適化計画を策定しました。同計画の概要をお知らせします。

2014(平成26)年3月現在、市が所有している建築物は370施設(883棟)、面積は約43万㎡です。今後、これらの老朽化により、建て替えや維持補修にかかる費用の大幅な増加が見込まれます。しかし、人口減少や少子高齢化により、利用者の減少・ニーズの変化や税収の減少、扶助費(福祉のための費用)などの増加が予想されるため、公共施設の建て替えや維持修繕に使える財源は限られてまいります。

### －公共施設・今後の市の状況と課題－

#### ■施設の安全性の確保

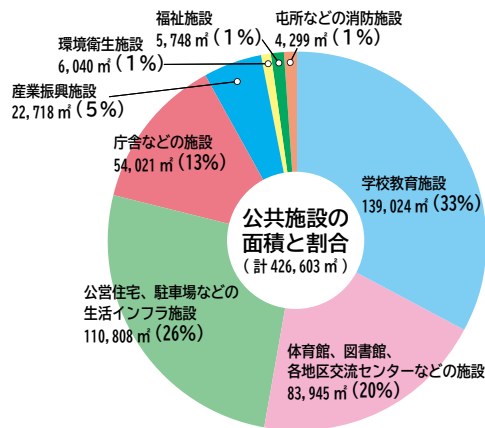
- ・建設から30年以上の建物が約5割を占める
- ・今後老朽化が進み、同時期に建て替えや維持補修が必要になる

#### ■人口減少と少子高齢化

- ・30年後には人口が約15%減、15～64歳の人口は約30%減に
- ・市民一人当たりの維持管理費負担が増える

#### ■義務的経費の増加

- ・扶助費などが増加し、施設整備への財源投入が困難



将来にわたって公共施設を安全に維持するためにも、財政状況に見合った公共施設のあり方を検討し、最適化を進める必要があるのです。

### 建築物最適化計画の位置づけ

－全体ビジョン(上位計画)－

「北上市総合計画」

北上市全体の方針の決定

－施設の基本的な考え方－

※  
インフラ資産マネジメント基本計画  
に基づく**建築物最適化計画**

－その他の関連計画－

北上市住生活基本計画  
子ども・子育て支援事業計画  
第8次高齢者福祉計画  
スポーツ推進計画  
北上市立図書館基本的運営方針  
その他、施設・事業に関する各種計画・方針

※インフラ資産マネジメント基本計画…公共施設の安全性の確保と施設存続期間における総コストを抑えるため、公共施設管理の基本的な考え方を整理し、新たな視点による公共施設などのマネジメントおよび保有財産の適正管理に向けた取り組みについて定めた計画  
平成25年策定(平成28年改訂)



第1回北上市公共施設を考える市民会議

建築物最適化計画とは、国の指針に基づき策定する計画です。市の施策や事業の方針と現在の財政状況などを確認し、将来にわたり公共施設を安全に維持し続けられるよう、今後の方向性を示すものです。

### 建築物最適化計画って？

今回の計画で示した方向性に基づいた建て替え・長寿命化・廃止などの具体的な整備を、市の総合計画の中に位置づけて進めていきます。  
なお、同計画は、平成29年度に実施した市民アンケートや、市民集会、3回にわたる市民会議を経て、平成30年度に地域説明会を開催し策定しました。



**第1期の前半(2019~2021年)で計画している主な事業**

2019年	北部勤労者屋内運動場(移転・建て替え) 江釣子中学校(長寿命化)
2020年	健康管理センター(建て替え(集約化・複合化)) →保健&子育て支援複合施設の新設 江釣子野球場(長寿命化)
2021年	展勝地プール(長寿命化) 横川目保育園・横川目幼稚園(廃止(集約化))→認定こども園の新設

※複数年にわたり実施する事業もあります。

**計画期間**

計画期間は、2019(令和元)年から2025(令和7)年までを第1期とし、以降5年ごとに第6期に分け、2050(令和32)年までの32年間としています。この期間で、段階的に最適化を行います。

なお、第2期以降の計画は5年ごとに見直しを行います。

**施設ごとの方針**

同計画の基本方針では、各地区の拠点地域への誘導や、各圏域で必要とされる機能の複合化・集約化・多機能化を図ることとし、施設ごとの配置の方向性を決めました。

- 幼稚園・保育園  
就学前児童数の推移に合わせて、認定こども園化・民営化を検討
- 小・中学校  
児童・生徒の安全を優先する教育環境を確保し、将来的な児童・生徒数を見込んだ適正配置を進める
- 体育施設  
高度・専門的な競技スポーツの拠点を定め、機能の拡充、機能の集約を図る
- 各地区交流センター  
体育施設の健康づくり機能などを集約。多機能化や複合化を図る

**建物の長寿命化**

同計画の基本方針に基づき、今後も維持する施設は、80年使用することを目標とし、建設から約40年目に長寿命化工事(屋根・外壁・設備などの更新)を行います。施設規模や老朽状況などにより長寿命化工事が適さない施設は、約65年目に建替工事を行います。

これらの工事時期に合わせて、機能の集約などを図る施設間で調整し、最

適化推進年度を定めます。

なお、既に役割を終えている施設は、時期を待たずに廃止を検討します。



2020年に長寿命化工事を行う予定の江釣子野球場

**最適化計画による削減目標**

基本方針では、建物の延床面積を約3割削減し、約30万㎡とすることを目標としています。

しかし、現在の計画内容では、第6期までに延床面積を約1割削減し、約38万㎡とするにとどまっています。今後、目標値にさらに近付けるため、市営住宅や小・中学校、保育園・幼稚園などの建築物について適正な配置を検討していきます。

**今後の取り組み**

同計画で定めた建物の整備などの推進年度に向かい、方向性に基づいて具体的な整備計画を策定します。

なお、整備計画は、市民、近隣自治体、民間企業や地域などと「ミニユニケーション」を図りながら策定します。

**問い合わせ**

財政課 ☎72-8251

